

# 平成27年度 香取市地域公共交通協議会 (千葉県香取市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)

## 地域の公共交通の現況

香取市は、平成18年3月27日に1市3町(佐原市・小見川町・山田町・栗源町)が合併して誕生した。  
千葉市に次いで県内第4位の広大な市域面積(262.35km<sup>2</sup>)を有し、東西約21.2km、南北約22.7kmと円形の地勢であることに加え、居住面積が市内全域に分散していることから、都市部と比較して自家用車への依存が高まっている。



## 事業の目的・必要性

香取市では平成21年2月に策定した地域公共交通総合連携計画に基づき、市内の公共交通不便地域等の解消を図るため小見川循環バスの運行を開始したが、人口の減少、人口密度の低下や高齢者の増加といった社会の変化が進行し、集落が分散している地区や道が狭隘な地区が多い本市では、従来大型車による路線定期運行のバスでは対応が困難になってきた。そこで、デマンド交通の有用性や持続可能性を検証することなどを目的として、小見川中央・東・南地区において乗合タクシーの試験運行を実施する。

小見川西地区においては、同計画に基づき実施した実証運行事業の成果を踏まえ、引き続き持続可能な運行を確保する必要があることから、小見川循環バスを継続して運行し、生活路線としての交通手段を確保することにより、公共交通空白地域を削減・縮小する。

## 事業の概要

平成21年10月に導入した「小見川循環バス」は平成24年4月から本格運行として実施。東南ルート及び西ルートの2系統で運行していたが、平成25年10月からは東南ルートを休止して、同ルートの運行区域においてデマンド型の乗合タクシーを試験運行している。

### 【コミュニティバス「小見川循環バス(西ルート)」】

事業者名：千葉交通株式会社  
運行系統：西ルート 26.62km  
運行日：月曜～金曜(土日曜日、祝日、年末年始運休)  
運行時間帯：6時25分～18時31分  
運行本数：8便/日  
運行車両：日野リエッセ(乗車定員37名) 1台  
運賃：大人300円、中高生100円  
小学生以下・障害者手帳所持者・・・無料  
回数乗車券・・・12枚綴り3,000円(大人のみ)

### 【デマンド交通「小見川乗合タクシー」】

事業者名：株式会社千葉交タクシー  
運行区域：小見川中央・東・南地区  
運行日：月曜～金曜(土日曜日、祝日、年末年始運休)  
運行時間帯：8時～17時  
運行本数：9便/日  
運行車両：トヨタコンフォート(乗車定員5名) 2台  
運賃：大人400円、中高生200円、小学生100円  
障害者手帳所持者・介助者・・・無料  
回数乗車券・・・12枚綴り4,000円(大人のみ)

面積

262.35km<sup>2</sup>

人口 (H28.1.1時点)

80,015人

15歳未満

8,114人

65歳以上

25,831人

高齢化率

32.3%

世帯数

30,545世帯

## 協議会開催状況

○協議会の開催状況 2回開催

- ・第1回(平成26年6月18日)  
ネットワーク計画を協議
- ・第2回(平成27年1月26日)  
事業実施状況について報告

## 前回の事業評価結果の反映状況

平成25年10月からのルート変更を受け、その後も継続的に利用者の意見聴取や利用促進の取り組みを実施。

また平成25年10月から試験運行を開始した小見川乗合タクシーについては、利用者アンケート・運行事業者からの意見聴取等を実施し、その後香取市地域公共交通協議会において本格運行への切り替えを協議し、平成27年10月より本格運行に切り替えることが決定した。

## 定量的な目標・効果

### 【目標】

小見川循環バス:年間利用者数 12,300人 小見川乗合タクシー:年間利用者数 4,400人

小見川循環バス(西ルート)は、東南ルートの休止により困難となる高校生を主とした利用者の輸送に対応することとし、目標値はその要因を加味した値を設定する。小見川乗合タクシーは、東南ルートの利用者が円滑に乗合タクシーへ移行されたと見られる値を設定することとし、西ルートで対応する高校生を主とした利用者は除いた値とする。

### 【効果】

小見川地区に存在する交通不便地域の一部が解消され、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保される。また、交通結節点である小見川駅と結び、鉄道等との効果的な連携を推進することで、地域間の活発な交流を促進し地域の活性化に寄与する。



## 目標効果の達成状況

【小見川循環バス】 年間利用者数:12,317人

- ・当初目標値を達成することができた。
- ・駅から利用する高校生及び交通不便地域である小見川西地区の主に高齢者等にとって、日常生活に必要な移動手段が確保・維持できた。

【小見川乗合タクシー】 年間利用者数:5,359人

- ・小見川循環バス(西ルート)で対応することとした高校生を主とした利用者を除き、旧小見川循環バス(東南ルート)の利用者が乗合タクシーへ移行されたとともに、路線運行から区域運行に運行形態が変更になったことにより、目的地や自宅がバス停から遠い者にも利用者が拡大したと見られる。
- ・小見川地区に存在する交通不便地域の一部が解消され、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保された。

## アピールポイント

バス利用者の現況及びニーズの把握を目的に「バス乗降調査及びインタビュー調査」を毎年度継続して実施。路線定期運行の循環バスを運行しつつ、利用者数が低迷している現状から地域ニーズに十分応えられていない状況にあるとの現状認識にたち、デマンド交通に移行した場合の有用性や持続可能性等の検討を並行して実施。

## 今後の改善点

### 【小見川循環バス】

今後も継続して利用状況の分析や住民ニーズの把握を行い、必要に応じダイヤの見直し等を行っていく。  
また、引き続き利用促進の取り組みについても実施していく。

### 【小見川乗合タクシー】

平成27年10月をもって本格運行に移行することとなったが、今後も引き続き利用状況の分析や住民ニーズの把握を行い、運行内容の見直し・検討を行っていく。  
また、引き続き利用促進の取り組みについても実施していく。



○参考資料として以下の資料を添付

- ・地域の公共交通体系図(鉄道、民間路線バス、コミバス 等)
- ・補助対象事業の運行系統図
- ・補助対象事業の実績データ(利用者数、収支 等)